

令和5年11月23日

西会津町広報広聴常任委員会
委員長 上野 恵美子 様

議会報告会第1班 班長 三留 正義

議会報告会（第1班）報告書

「町民と議会との懇談会」（第15回議会報告会）開催結果について、下記のとおり報告いたします。

記

1. 開催場所及び日時等

開催場所	開催日	開催時間	参加者
奥川みらい交流館	11月13日（月）	18:00～ 20:00	男性…2名 女性…0名 計…2名
下野尻集会所	11月14日（火）	18:00～ 20:00	男性…3名 女性…0名 計…3名
松尾集会所	11月15日（水）	18:00～ 20:00	男性…5名 女性…3名 計…8名
西会津町公民館	11月16日（木）	18:00～ 20:00	男性…3名 女性…1名 計…4名

□自治区長出席者状況 奥川みらい交流館 中町自治区長 岩橋 義平
下野尻集会所 下野尻自治区長 平野 健一
松尾集会所 松尾自治区長 杉原 徳夫

□添付書類…出席者名簿

2. 出席議員

三留正義 荒海正人 青木照夫 紫藤真理子 （伊藤一男：下野尻集会所のみ）

3. 実施内容 別紙のとおり

1. 会場：奥川みらい交流館

(1) 担当係

- | | |
|----------|--------|
| ① 受 付 | 青木 照夫 |
| ② 進 行 | 荒海 正人 |
| ③ 開会あいさつ | 三留 正義 |
| ④ 説 明 | 三留 正義 |
| ⑤ 記 録 | 紫藤 眞理子 |

(2) 議会報告に係る参加者からの質問・意見等

① 視察や研修等を通じて議会からも政策提言してほしい

□ 回答：三留、青木、荒海

・議会報告会等で伺った内容については、議会から町へ申し入れをしてきた。ただ、町側から明確な回答がない場合の指摘や取り組みの進捗など検証が徹底されてこなかった点も挙げられる。今後の取り組みについては、委員会等でも検討していく。

・視察を政策にまで反映させるには、執行部との共通認識づくりも必要になる。今回、経済常任委員会での視察では、課長2名（従来は1名）が同行し、本町の問題点等について議論した。

・総務常任委員会での取り組みでは、政策提言をゴールとした調査計画を策定した。デジタル戦略の推進、子育て支援、集落支援の3つのテーマに絞り執行部も含めた協議を進めている。来年度の政策提言に向け取り組んでいく。

② 議会活性化特別委員会の役割は。

□ 回答：三留

改選毎に、議会の活性化等のテーマで特別委員会を設置している。常に議会環境を改めていくための議論の場として設置されている。

③ 議長選挙等における白票は、議員としてありえない。議員としての考え方を改めてほしい。

□ 回答：三留

白票は、議員としてあるべき姿かと言われるれば、指摘されたことに共感するところもある。ただ、公職選挙法に則った進められ方であることから、白票を禁じることはできない。

④ 非課税世帯に対する補助が多いことについて財政的な負担になっていないのか。

□ 回答：三留

財政全体としては、余裕がある状態ではない。普通交付税も人口減少とともに減少していくことが考えられる。国でも急激な財政悪化を防ぐための緩和措置が取られている。将来を見据えての意見として伺い、今後の財政も含め今以上に注視していく。

(3) 懇談会テーマ『人口減少問題について』

① 人口減少の中で、いかに楽しくやるかなど発想の転換が重要なのではないか。人口減少によって耕作放棄地や空き家の増加など様々な不都合が起こるが、住民がどのように考えるかで対応が大きく変わると思う。例えば、奥川地区では、外部人材と連携し、人足のボランティアや米のブランディングなど多くの取り組みが作り上げられている。また地域を知ってもらうために集落のルールを記した集落の教科書づくりも進められている。

□ 回答：青木、荒海、三留

・まさに人口減少をチャンスとしていかなければならない。行政以外の取り組みでも空き家を活用した取り組みが多数行われている。空き家だけをとっても交流人口・関係人口を増やす方策に転換することができる。

・総務常任委員会の調査テーマの一つとして集落支援を取り上げている。奥川地区での取り組みをモデルとしていきたい。議会からも提案できるように取り組んでいく。

・奥川地区の取り組みを伺って事業を誘導する人材（ナビゲーター/アドバイザー）と事業を構築する人材（クリエイター/コーディネーター）の関係構築が重要であると感じた。奥川地区の取り組みは、参考になる点が多い。

・様々なメディアや情報発信ツールによって社会への波及がすごい時代である。その力を活用していくことで地域力を、より高めていけるように感じた。

② 外部との関わりが多くある中で町として人材ネットワークを確保し、他事業等へつなげる等の取り組みはできないか。

□ 回答：三留

外部人材との関わりによって地域資源を見出してもらうことは地域を考える上で大切。外部人材を、上手に町の事業に組み込んでいくことができれば人材を継続的に確保し、地域における関わりも深まるようになると思う。

③ 農業の現状を考えると、耕作放棄地の増加と担い手不足が心配に思う中で農業公社に対して期待している。特に耕作放棄地の利活用に関するアイデアはないか。

□ 回答： 三留

・耕作放棄地の活用については、農地法・農業振興計画等が足枷となっている部分がある。対応については、活用事例等もあることから町への進言も併せて行なっていく。

・農業者の担い手として移住者対策等でも取り組まれていることから、現地の状況とニーズを擦り合わせながら進めていく必要がある。

④ まちづくりを行なう上で、自助・共助の力を活かす取り組みが必要ではないか。

□ 回答： 荒海、三留

・管外行政視察を行った集落では、行政に頼ることなく、自主事業で財源確保をするなどの取り組みが行われていた。前提として地域のことは地域で考えることとしながら、行政（公助）との関係を築く必要がある。

・集落の方が自ら行動し、発信をしていく方が社会からも受け入れやすくなると考える。

・西会津の場合、地域の雪対策が根本的な問題となっている場合が多い。総合的な取り組みを行うことで地域の活動も変わってくるのではないか。

(4) 開催会場における改善及び反省事項

特になし

2. 会場：下野尻集会所

(1) 担当係

- ① 受付 青木 照夫
- ② 進行 荒海 正人
- ③ 開会あいさつ 伊藤 一男
- ④ 説明 三留 正義
- ⑤ 記録 紫藤 真理子

(2) 議会報告に係る参加者からの質問・意見等

- ① 鳥獣対策について、下野尻でも各地で檻やワナを設置しているが、被害が大きい。猟友会のパトロールとあわせて有効な対応はできないのか。特に箱罠のエサを変えるなどした方がいいのではないかと。管理も含めお願いしたい。

□ 回答：三留

- ・猿の箱罠については、捕獲が進んでいない様子。エサとしては、サツマイモなどを利用し、腐食しないよう入れ替えを行なっているが、捕獲まで至らないことが多い。
- ・猟友会が実施している対策については、町から依頼している事業であるので意見として伺う。

- ② 田んぼの管理が、高齢化によって負担になっている。団地化された電柵など規模によって町から補助を受けることはできないか。

□ 回答：三留、伊藤、荒海

- ・団地化されている箇所管理・運営が負担になっていることは理解できる。管理・運営の補助については、要望として伺う。
- ・団地化する場合、周辺の利用者と足並みが揃うかが大きなハードルとなる。一人でも反対者がいるとできないことも問題点として挙げられる。
- ・農林振興課では、有害鳥獣被害を根本的に解決する取り組みとして地域環境調査を実施している。自治体レベルでの協力が become 必要になるが、中長期的な効果を考えれば取り組むことも検討していただきたい。

- ③ デジタル戦略が進められているが、地域におけるメリットが感じられない。また高齢者が多い地域でもあり、受け入れにくいと思う。

□ 回答：荒海、三留

- ・デジタル戦略を進めるにあたっては、デジタル技術を導入しなければならないということではない。この点は、かなり誤解されている部分でもある。目的は、町民の利便性向上であり、行政サービスの向上等であり、デジタル技術等を活用して、事業の仕組みを変えていっている。事業を新たに立ち上げるものと違い、大きな変化を感じることは、ないかもしれないが、着実に本質的な事業運営となっているように感じる。

・デジタル戦略にあたって、特に高齢者の方が対応しきれないということを伺うことがしばしばある。デジタル技術を導入している事業もあり、理解できる。一方でよろず相談室などサポート窓口を定期的に開設している。これからも議員各位が一般質問等を利用してより町民の理解が深まるような対応をしていく。

- ④ 集落支援について奥川が主たる地域になっていないか。他地域での活動はされているか。また人足ボランティアのように地域のお祭り等を支援してもらえれば交流人口・関係人口の増加につながると思う。

□ 回答：荒海、三留

・集落支援の対象は、高齢化率80%を超えた自治区の中で集落支援を希望する自治区に対して支援を実施している。奥川地区以外にも支援を実施している自治区がある。

・これまでの集落支援は、主に高齢者の見回りや人足、地域行事への人員派遣が多かった。近年では、交流人口・関係人口創出を目的にした取り組みも多くなっている。

・奥川地区の事例を紹介すると集落支援で取り組みは、メリットがあるなしで人が集まっているようではない。交流の中で、関係が構築され何度も訪れていただけるようになっている。

・人足以外にもイベント化して人員を集めている。地域のお祭りへの支援を名目にしてしているものもある。ぜひ今後の取り組みとして地域のお祭りへの参加をイベント化してほしい。

- ⑤ 群岡地区にある寄宿舍の撤去を要望したい。

□ 回答：三留、伊藤

町内各地で同様な老朽化した施設が多くある。現状としては、予算等にも関係することから、手がけられていない状況である。今後の管理については、早急に検討することが必要と考える。

- ⑥ ロータサインの補修の内容は。

□ 回答：伊藤

給湯管の破損が見られ、補修措置を実施したが、完了することができなかった。現在は、沸かし湯で営業している。また、施設における床スラブの改修が発生し応急措置を施したところ。本工事等、来年度当初予算にも影響するものと考えられることから議会でも注視していく。

(3) 懇談会テーマ『人口減少問題について』

- ① 身しらず柿の活用について考えられないか。また、かつて実施されていた未利用果樹木を伐採する補助を考えられないか。

□ 回答：荒海、三留

・町では、未利用柿を活用した商品開発が進められている。これまでアイスやシフォンケーキなどの商品としてきたが、柿の消費量を高めるまでには至っていない。

・未利用果樹木伐採についての補助等については、意見があったこととして対応したい。

- ② 群岡診療所の外壁が錆びついていることから対応してほしい

□ 回答：三留

委員会等で現地を確認して対応していくこととする。

- ③ 西会津診療所における処置室の改善をしてほしい

□ 回答：三留

現在、カーテンを閉めるだけでの隔離がされている。新たに処置室や待合室を適正に確保する必要があると考えられる。今後の計画や予算の兼ね合いもあることから町に対し要望していきたい。

(4) 開催会場における改善及び反省事項

特になし

3. 会場：松尾集会所

(1) 担当係

- | | |
|----------|--------|
| ① 受付 | 青木 照夫 |
| ② 進行 | 荒海 正人 |
| ③ 開会あいさつ | 三留 正義 |
| ④ 説明 | 三留 正義 |
| ⑤ 記録 | 紫藤 真理子 |

(2) 議会報告に関わる参加者からの質問・意見等

特になし

(3) 懇談会テーマ『人口減少問題について』

- ① 農地の担い手不足が心配。特に畑の活用が問題として上がっている。30haあるほとんどがソバを栽培しているものの、今年は高温障害等により育成不足で収量が激減したことから、町として対応してもらえないか。

□ 回答：三留

- ・担い手不足や農地が荒廃していくことについては全域で問題となっているもの。松尾自治区でも同様なものとする。
- ・今夏の高温障害等の影響については、各地で同様の被害が確認されている。意見として伺い、対応していきたい。

② ミネラル栽培に限らず、特産品にできる作物はないか。年間を通じてできるような作物であればさらにいい。さらなる特産品開発にあたってほしい。

□ 回答：三留

- ・特産品を見つけ出す努力をしなければならぬと伺う。金銭的な施策、農家が孤立しないようなことも含めて対応は必要になる。

③ 地域おこし協力隊の活動が、分からない。より地域に入り込む必要があると思う。

□ 回答：荒海

地域おこし協力隊事業の運用について導入当時は、地域に入り込み困り事に対応するような取り組みが行われていた。その後、退任後の定住を模索する中で仕事づくりを重視して人員募集を行った。より地域に入り込むためには、地域で仕事となりそうなのが分からなければならない。情報共有や条件のすり合わせなどの課題があることから職員による対応をはじめ、自治区からも情報共有をする機会等もあってもいいのかもしれない。

④ これまで人口減少をテーマに懇談会を実施してきているが、町として効果が生まれていないように感じる。議会としてはどのように感じているのか。

□ 回答：三留、荒海

- ・議会報告会で伺った意見等の経過について議会でもチェックしていく必要があると考える。今後の懇談会の運営についても議論していきたい。
- ・人口減少は、様々な問題が結びついている大きな問題である。一朝一夕に解決できるものではない。目にみえる問題と合わせて中長期的な対策も検討していく必要がある。

⑤ 少子化対策としてはどのように感じるか。

□ 回答：紫藤、三留

- ・核家族が増えている状況下で少子化対策を講じていくことは難しい。他地域では、多世代家族がいまだに多くを占める地域もあることから調査をしていきたい。
- ・連動して複合的な政策が必要。特に本町においては、除雪の問題をはじめ冬季間の暮らしの問題があることから、対応していかなければならない。

- ⑥ 町から貸与された除雪機だけでは対応しきれない道がある。また町が貸与している大型除雪機(ハンドガイド)はその日のうちに返却しなければならないことから効率が悪いことから改善できないか。

□ 回答：三留

除雪に関する問題は、本町においては、暮らしやすさにつながる問題である。意見として伺い、対応していく。

(4) 開催会場における改善及び反省事項

特になし

4. 会場：町公民館

(1) 担当係

- | | |
|----------|--------|
| ① 受付 | 青木 照夫 |
| ② 進行 | 荒海 正人 |
| ③ 開会あいさつ | 三留 正義 |
| ④ 説明 | 三留 正義 |
| ⑤ 記録 | 紫藤 真理子 |

(2) 議会報告に係る参加者からの質問・意見等

- ① 財政調整基金の残額が減少している。現在の社会情勢を見ると今後、減少傾向になるのか。

□ 回答：三留

- ・近年は災害等への対応を考える上で一定程度の財政調整基金の積立が必要である。年度中を通じて変動するものでもあることから、現在の積立額が多いとも少ないとも言えない。
- ・財政調整基金が減少するという指摘については、町債の返済額が、高止まりしている財政状況でもあり、また災害等の対応における財政出動があることも踏まえ今後の見通しが不安定な部分がある。財政側の額の調整等について注視していきたい。

- ② 有害鳥獣解体処理施設の利活用はされているのか。

□ 回答：三留

- ・ジビエについては、原発事故による国の規制により活用することができない。解除するためには、手続きが困難に近いことから、未だ活用できない状況にある。
- ・地域おこし協力隊によって革細工として利活用されている面もある。

③ クマ被害が大きい中で、どのような対応がされているのか。また有害鳥獣対策担当の地域おこし協力隊の安全性は確保できているのか。

□ 回答：三留、荒海

- ・クマによる人的被害は、今のところない。
- ・クマの捕獲については、檻で捕獲して止めさしをしているので、比較的安全の中でやっている。かつてのマタギ的な狩猟をやっていない。猟友会が責任をもって対処している。
- ・地域おこし協力隊は、有資格者が着任いただいている。これまでも有害駆除の経験があることから指導も含めて対応いただいている。

④ 町が参加する駅伝大会に応援する方がいなく、送迎が中止になったことに対して議員はどのように感じるか。議員が行くことで町民意識を高めることにもつながるのではないか。さらに議員にリーダーシップを発揮してほしい。

□ 回答：三留

町の対応も今以上に努力する必要があると考える。議員としても今以上にリーダーシップを発揮できるよう努力していく。

(3) 懇談会テーマ『人口減少問題について』

① ロータスインの改修について町の方向性は。

□ 回答：三留

湯温の低下による対応については、仮復旧するための工事を実施したものの改善が見られなかった。現在は、沸かし湯で運営している。また、給湯タンク下のスラッグが老朽化したことによる仮対応もしている。今後、本工事が行われることとなっているが、金額等については、まだ不明であることから回答は差し控えさせていただきたい。

② 少子化問題について町ではどのように考えているのか。あらゆるツール等を活用して発信してほしい。

□ 回答：三留

現在、少子化問題については、さまざまな対策を講じているが、効果としては芳しくない。今後、交流人口、関係人口、集落支援等も含めて、さまざまなアプローチが考えられる。また出会いに対しての支援について、婚活等をはじめさまざまな形を変えて対応してきたところでもある。出会いだけを改善しても、その他の住環境等も考える必要があり、様々な対応が必要になるとも考える。

- ③ 人事院勧告が出た時に、議員報酬を据え置くことで、その分をその他の政策の財源として活用できないのか。また（別の参加者から）議員報酬を上げて、議員活動のレベルを上げるべきだと思う。

□ 回答：三留

仕組みとして、議員報酬は、普通交付税に算定されていることから、据え置いたとしても財源として余剰となることはない。報酬の増減については、議員ごとに意見が異なることから回答については、控えておく。

- ④ 町民バスの運営について、運賃を値上げすることがあるのか。

□ 回答：三留

現在、町の方から運営について運賃の値上げ等についての情報はない。仮に運賃の値上げ等がある場合は、議会にも報告があることから、今後の対応に注視していきたい。

令和5年11月27日

西会津町広報広聴常任委員会
委員長 上野 恵美子 様

議会報告会第2班 班長 猪俣 常三

議会報告会(第2班)報告書

「町民と議会との懇談会」(第15回議会報告会)開催結果について、下記のとおり報告いたします。

記

1. 開催場所及び日時等

開催場所	開催日	開催時間	参加者
徳沢集会所	11月12日(日)	13:30~15:00	男性… 5人 女性… 5人 計… 10人
大久保集会所	11月15日(水)	18:00~19:30	男性… 5人 女性… 0人 計… 5人
橋屋集会所	11月18日(土)	18:30~20:00	男性… 12人 女性… 0人 計… 12人

自治区長出席者状況 徳沢集会所 徳沢自治区長 猪俣 静也
大久保集会所 大久保自治区長 清野 慶久
橋屋集会所 橋屋自治区長 二瓶 栄喜

添付書類…出席者名簿

2. 出席議員

猪俣 常三・秦 貞継・上野 恵美子・長谷川 正【伊藤一男議長(徳沢集会所)】

3. 実施内容

別紙のとおり

(4) 町への要望について

- ① 学生の皆さんに、どんな仕事を希望しているか、意向調査を実施してもらいたい。
- ② 集落支援員の派遣を要望したい。

(5) 議会だよりについて

- ① 字を大きくしてもらいたい。
- ② オレンジに白では色合いが悪い、目立つ配色を希望したい。

(6) 報告会における改善及び反省事項

特になし。

2. 大久保集会所

(1) 担当係

- ① 受付 長谷川 正
- ② 進行 秦 貞継
- ③ 開会あいさつ 猪俣 常三
- ④ 説明 上野 恵美子
- ⑤ 記録 長谷川 正

(2) 議会報告に係る参加者からの質問等

- ① デジタル戦略の今までの取り組みと、これからについて。
 - 回答…デジタルを使った町民への利便性を調査し、今は、町に合った手法の実施段階にきている。すべての町民に使い易いツールを提供する必要がある。 <回答者 猪俣常三>
 - 回答…デジタル戦略の一つの取り組みとして、役場業務の効率化と町民の皆さんに、より良いサービスが提供できると考えられる。 <回答者 秦貞継>
 - 回答…デジタルを使い作業効率の向上が期待される。 <回答者 猪俣常三>
 - 回答…デジタルを使うことは、手段であり、目的は町民の暮らしが良くなる事。様々なツールを使う事により改善される。 <回答者 上野恵美子>
- ② 電気柵の設置での有害鳥獣対策に効果はあるのか、教えてほしい。
 - 回答…私の自治区では、3ブロックに区切り電気柵を設置し、田んぼはもとより、畑も囲って効果が出ている。 <回答者 猪俣常三>

□ 回答…管内視察において、自治区全体で設置している取り組みを見て、以前は個々で設置していたが、自治区全体で行う事により作業の効率化と設置面積の充実化が図られ、以前より効果が出ていた。

＜回答者 長谷川正＞

□ 回答…農業公社が設立され、具体的な業務内容がはっきり示されていないが、自治区として要請してはどうか。

＜回答者 秦貞継＞

③ 有害鳥獣解体処理施設の建設経緯と利用状況を教えてほしい。また、これからの活用方法を聞きたい。

□ 回答…大型有害鳥獣捕獲後の埋設が課題であった、今までは埋設により処理していたが、施設が出来た事により、解体も容易になり焼却場への搬入も楽になった。昨年度は、熊・猪合わせて約20頭の処理を行った。

＜回答者 長谷川正＞

□ 回答…熊・猪を解体処理しジビエ料理として販売する事は、今は禁止されているが将来解除になれば、有効活用できる今はその準備段階である。

＜回答者 秦貞継＞

(3) 懇談会テーマ『人口減少問題について』

① なぜ人口は減るのか、その原因は何か。

□ 回答…仕事がない、働く場所がない、町としても企業の誘致活動を行っているが結果が出ていないのが現状である。

＜回答者 猪俣常三＞

□ 回答…町内にも募集をしている所はあるが、希望する職種がないので町外に出て就職する、希望の職種にこたえられない、それが問題だと思う。

＜回答者 上野恵美子＞

□ 回答…仕事があること、将来の生活に希望を持てる町でなければ、人は来ないし残らない。次世代を担う人の意見を聞くのも大事なことだと思う。

＜回答者 秦貞継＞

② 町内に企業を誘致するための優遇策はあるのか。

□ 回答…工業団地を用意し、格安で土地が求められる。様々な優遇策を講じていますが、企業誘致が実現していないのが現状です。

＜回答者 猪俣常三＞

(4) 町への要望について

① デジタルを使って町外に対する町のPRを今以上に取組んでもらいたい。

② 学生に、どの様な仕事に関心があるか、調べてもらいたい。

③ 観光地としての自治区のさらなる発展、自治区でも取り組んでいるが、町としても自治区と一緒に取組んでもらいたい。

④ 大山祇神社本殿の参道整備も進めているが、災害のたびに整備が必要となっている。町にも協力してもらいたい。

(5) 議会だよりについて

- ① 議会の専門用語の説明をしてもらいたい。
- ② 見やすい紙面、読みやすい紙面にしてもらいたい。

(6) 報告会における改善及び反省事項

特になし。

3. 橋屋集会所

(1) 担当係

- ① 受付 長谷川 正
- ② 進行 秦 貞継
- ③ 開会あいさつ 猪俣 常三
- ④ 説明 上野 恵美子
- ⑤ 記録 長谷川 正

(2) 議会報告に係る参加者からの質問等

① 電気柵による有害鳥獣被害対策の効果はあるのか。

- 回答…町でも有害鳥獣被害対策を最重要課題に位置付け、設置に対しては補助金を設けるなど積極的に取り組んでいる所です。

＜回答者 猪俣常三＞

- 回答…町の電気柵設置に関する補助率は自治区で70%~75%、個人では30%~40%、今は申請のたびにもらえる事になっています。

＜回答者 秦貞継＞

② 捕獲による有害鳥獣対策と、まき狩りによる捕獲を教えてください。

- 回答…昨年度のまき狩り捕獲の実績はあまりなかったと聞いているが、今年度に入り熊の捕獲頭数が大幅に増えている。まき狩り捕獲の実施については聞いていない。有害鳥獣の被害があった時は、すぐに担当課に被害報告をあげてもらいたい。

＜回答者 秦貞継＞

(3) 懇談会テーマ『人口減少問題について』

① 若い人が結婚しない、そこから見ての人口減少をどう考えるのか。

- 回答…若い人の価値観の違い、生き方の多様化や女性の自立など、自己実現のための生き方が容易になり、結婚しない事につながっているのではないか。

＜回答者 上野恵美子＞

- 回答…若者にあった仕事、リモートによる仕事の環境は整っているが、なかなか移住者が来ないのが現状。町内に若者が残れる仕事を考える。

＜回答者 猪俣常三＞

□ 回答…町内にも人の募集はあるが、希望する職種がない。どんな職業を希望しているか調査が必要と思われる。 <回答者 上野恵美子>

② 水利組合の施設の老朽化もみられ、後継者不足と担い手不足、将来に向けての対策はどの様なものがあるか、これからの農業についてお聞きしたい。

□ 回答…水利組合施設の老朽化は、他組合とも足並みをそろえ、早期の実施が必要です。農業の様々な問題を解決し人材の残れる仕事にしたい。 <回答者 猪俣常三>

③ 企業誘致が進まないのは、雪の影響なのか、他の要因があるか。また、人口減の要因を教えてほしい。今、若い人がどんな仕事を希望しているか聞いてみたい。

□ 回答…自然減による人口減少もあるが、希望する職業が町内になく、町外で働く事により人口流失に陥っている。若い人の意見を聞く取り組みが必要。農業においても、新規就農者の募集や農業公社設立、各地にライスセンターの設立など農業を取り巻く情勢も変わりつつある。農業による町おこしもできるのではないかと。 <回答者 秦貞継>

(4) 町への要望について

- ① フレンドワールド管理棟の利活用を考えてほしい。若者カフェとして活用できないか。
- ② 町の介護施設の増床はできないか。
- ③ 様々な補助金などの情報をわかりやすく、いつでも見られる体制にできないか。

(5) 議会だよりについて

- ① 特になし

(6) 報告会における改善及び反省事項

特になし。

令和5年11月27日

西会津町広報広聴常任委員会
委員長 上野 恵美子 様

議会報告会第3班 班長 小林 雅弘

議会報告会（第3班）報告書

「町民と議会との懇談会」（第15回議会報告会）開催結果について、下記のとおり報告いたします。

記

1. 開催場所及び日時等

開催場所	開催日	開催時間	参加者
向原集会所	11月13日（月）	18:30～ 20:30	男性… 2名 女性… 0名 計 … 2名
縄沢広谷寺	11月14日（火）	18:30～ 20:30	男性… 9名 女性… 1名 計 … 10名
新郷連絡所	11月17日（金）	18:30～ 20:00	男性… 3名 女性… 0名 計 … 3名

自治区長出席者状況 向原集会所 向原自治区長 杉本 正充
縄沢広谷寺 縄沢自治区長 青津 稔
新郷連絡所 樟山自治区長 海沼 賢勇

添付書類…出席者名簿

2. 出席議員

武藤道廣 小林雅弘 仲川久人

3. 実施内容 別紙のとおり

1. 会場：向原集会所

(1) 担当係

- ① 受 付 仲川 久人
- ② 進 行 小林 雅弘
- ③ 開会あいさつ 小林 雅弘
- ④ 説 明 武藤 道廣
- ⑤ 記 録 仲川 久人

(2) 議会報告に係る参加者からの質問等

- ① 熊の目撃に関して役所の対応が悪い。「なぎの平で熊が道路を横切った」と役場に報告したら「ああそうですか」で終わった。対応の仕方があるのではないか。職員の意識の問題だ。

□ 回答：武藤議員

議会としても対応を検討する。

- ② 有害鳥獣駆除について

罾を掛けるのはいいが、解体にしても埋めるにしても負担が大きい。町で捕獲後の処理を検討して欲しい。

- ③ 高齢化率について

ボランティアを頼むにしても高齢化率が低いと頼めない。小さい子どもが数人いると高齢化率が低くなる。向原では子どもがいるので高齢化率が低く支援が認められないケースもある。

□ 回答：武藤議員

議会としてデータ集計のあり方を実態に合った形にするよう検討する。

(3) 人口減少問題

- ① どうして人口が増えないのか。経済的な要因で結婚しない方が多いのではないか。魅力ある町づくりに焦点をあててはどうか。

- ② 企業家の受け皿をつくる。あとは、農業を重点とする。

(4) 議会だよりを読みやすくするには

- ① 一般質問で、一問一答のはずがグダグダと長すぎる。三段目までいくのはどうなのか。

- ② オレンジ色がきつく、目がチカチカする。改善して欲しい。

(5) その他改善要望

- 新村線の袖藪沢の橋の取り付け部分の段差が酷い。
- 天前の道路に段差あり。
- なぎの平の町道も段差が酷い。
- 滑沢地区（天の前～滑沢入口）の道路の凹凸が酷い。
- 弥平四郎の登山道までの道路整備が必要である。
- 災害の際、窓口でたらい回しになるのを何とかして欲しい。
総合受付を設置して欲しい。
- 向原地区の裏道路を早期に整備して欲しい。
- 小さな町道の除雪をして欲しい。

(6) 報告会における改善及び反省事項

特になし。

2. 縄沢地区（広谷寺）

(1) 担当係

- | | |
|----------|-------|
| ① 受付 | 仲川 久人 |
| ② 進行 | 小林 雅弘 |
| ③ 開会あいさつ | 小林 雅弘 |
| ④ 説明 | 武藤 道廣 |
| ⑤ 記録 | 仲川 久人 |

(2) 議会報告に係る参加者からの質問等

① 工業団地について。

工業団地が残土置き場になっているが。

□ 回答：武藤議員

端村の護岸工事に使用している。工事完了時は全て撤去して返す事になっていると聞いている。この残土は、さゆりの二期工事が頓挫したことで大量の残土が残っている状況。担当課は商工観光課。

② 夏の異常気象について。

夏の熱波による高齢者の孤立問題で、高齢者が避難できる（利用できる）施設は設置できないのか。小林議員の質問に対して町の回答は「検討する」だけなのか。

□ 回答：小林議員

この問題については、6月議会でも質問する予定でいる。

回答：武藤議員

町もサロンの利用を進めている。

③ 消防屯所をコミュニティ施設に利用できないか。集会所がないので要望している。

□ 回答：武藤議員

奥川地区でも屯所を集会所としている例があるので可能だと思う。町へ申し込んでみて欲しい。その際は、二階に上がる階段の手すりの設置とエアコンの設置も一緒に要望して欲しい。

(3) 要望等について

① 牛尾ライスセンターから、ところ橋までの町道が未舗装なので、毎年碎石を敷いて住民で維持管理をしている。舗装してもらえないか。過去に何度か陳情をしているが実現できない。

□ 回答：武藤議員

町への陳情と同じく議会へも陳情をあげていただきたい。経済常任委員会の管轄になる。議会でも実施できるよう検討する。碎石を生コンにするなどの対応でもいいか。

(要望) 生コンでもよいのでお願いします。

(回答) 要望は理解した。議会に陳情をあげていただきたい。

② 林道も整備して欲しい。

□ 回答：武藤議員

町内の林道や農道でも補修が必要な所も多くあるので、陳情を上げていただきたい。議会でも調査する。

③ ロータスインでお湯が出ないのもわかるが、どうしてレストランが営業できないのか。ゆっくり温泉に入ってお昼を食べるという前のスタイルで営業できませんか。議会からも改善をお願いしたい。また、ロータスインは町でも補填しているからというイメージがあり、自助努力がないのでは。議会もきちんとチェックして欲しい。

□ 回答：武藤議員

振興公社の経営には議会も関与できない決まりがある。しかし、町の助成金についてはチェックできるので、皆さんの疑問にこたえられるよう取り組む。

(4) 人口減少について

① 自分の集落は、あと数年かすれば誰もいなくなる状況である。そうなると便利なところに住み、休日に集落に戻り作業するような事になると思う。中心部に人が集まり周辺地域に通い、自宅管理をするようになると、どこの集落でも自治区として機能しなくなる。これは野沢でも同じだと思う。ポツンと一軒家のようなところばかりでは、町そのものが成り立たない。町が取り組む施策で将来像が見えない。町が街中活性化と言ってやっていることは効果がでているのか。

□ 回答：武藤議員

街中活性化に取り組んでいるが結論は出ていない現状だ。個人的な意見だが「どこの家庭でもそうかもしれないが、そこに住めない要因があると思う。仕事がない、所得が低い、便利性が悪い、若い人は都会に行きたがる。我々の世代のように集落を維持していかなければとの意識がなくなってきている。」確かに町が子育て支援や福祉に力をいれてやっているが、肝心な仕事や所得が改善しなければ定住することは難しいと考える。

②・町が色々な取り組みをしていることはわかる。これは続けてもらいたい。しかし、根本的に仕事を増やす、所得を上げるにはつながらない。西会津に大型商業施設、例えばコストコのようなものを誘致できないか。コストコがあれば離村する方も少なくなると思う。

・工場誘致などは無理なので、商業施設誘致は良い考えだと思います。是非、議会の方でも大型施設の誘致に取り組んでいただきたい。

・町として自立の町を選択したので、人口減少したから合併などないので、やはり大きな変革が必要だ。

(5) 議会だよりに関して

- 表紙の色のオレンジは、温かみはあるが目がチカチカするので変えた方が良いと思う。
- デジタルの町なのだから、広報もケーブルテレビで流せばよい。
- 文字を少なくして写真を多く入れた方がよい。
- 一般質問の部分は長すぎる。簡潔に記載して欲しい。何がどうしたでよい。

(6) 報告会における改善及び反省事項

特になし。

3. 新郷連絡所

(1) 担当係

- ① 受付 小林 雅弘
- ② 進行 小林 雅弘
- ③ 開会あいさつ 武藤 道廣
- ④ 説明 武藤 道廣
- ⑤ 記録 小林 雅弘

(2) 議会報告に係る参加者からの質問等

- ① 一般廃棄物の収集、「(小綱木で) 週2回にして欲しい」という要望がある。収集場所を(山浦でも) 1カ所ではなく2カ所にして欲しいという要望がある。

回答：武藤議員

具体的な実態を踏まえ要望として、議会に出して欲しい。

- ② 町に住所のない人が区長をやっている場合がある。村維持のためにはやむを得ないのではないか。

回答：武藤議員

奥川は特例として認めている。集落維持がまず第一だと思う。

- ③ 熊檻の扉が落ちている時がある。どんどん捕獲すればいい。

回答：小林議員

町の許可で1頭捕獲したら、次の許可がおりるまで扉は閉める必要がある。

(3) 人口減少問題

- ① 家の改修で補助があるが、年齢制限など条件を外したらどうか。できるだけ町に移住しやすくする。

(4) 議会だよりをより読みやすくするには。

- 写真に何の写真か説明をいれる。(キャプション)
- もう少し字を大きくして欲しい。
- 表紙の写真の説明がない。分かるようにいれて欲しい。

(5) 報告会における改善及び反省事項

特になし。